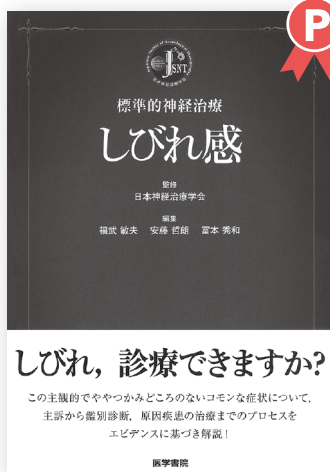


#医学書院の新刊

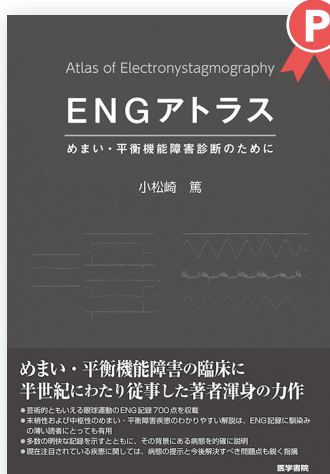
本欄で紹介した書籍は、読者アンケート (p.976) に
ご回答いただいた方に、抽選でプレゼントいたします。



標準的神経治療 しびれ感

日本神経治療学会＝監修
福武敏夫、安藤哲朗、富本秀和＝編
本体 3,400 円＋税／A5 判・144 頁／医学書院／2017

“しびれ”を呈する神経疾患に特化した日本神経治療学会作成の治療ガイドライン。しびれの病態機序や検査から、原因である神経疾患の概要、そして治療までをエキスパートたちが解説する。日常診療で主訴として記載されることの多いしびれのうち、感覚障害によるものを対象に、しびれ感の病態生理や原因疾患について、主訴から鑑別診断、治療にいたるプロセスをエビデンスに基づいて示した。ありそうでなかった、しびれを呈する神経疾患の治療指針！



ENG アトラス めまい・平衡機能障害のために

小松崎 篤＝著
本体 8,200 円＋税／A4 判・448 頁／医学書院／2017

めまい・平衡機能障害の他覚的所見としての眼振や異常眼球運動は、電気眼振検査 (ENG) により正確に記録され、診断・治療に大きく貢献する。本書には、著者が長年にわたり記録した多数の ENG 記録が収載され、その豊富な経験をもとに解説されている。さらに、めまい・平衡機能障害に関係ある疾患の特徴についての説明が的確になされ、その分野の診療に従事する医師、臨床検査技師、看護師等の座右の書となる 1 冊である。著者の長年にわたる臨床経験に裏打ちされた渾身の 1 冊。



《シリーズ ケアをひらく》 中動態の世界 意志と責任の考古学

國分功一郎＝著
本体 2,000 円＋税／A5 判・344 頁／医学書院／2017

早くも 5 刷。業種の別を越えて、各方面から大注目を浴びています。医師にも思い当たるところがあるはず……。

能動態と受動態の中間に在る「中動態」。自傷患者は言った。「切ったのか、切られたのかかわからない。気づいたら切れていた」。依存症当事者はため息をついた。「世間の人とはしゃべっている言葉が違うのよね」。当事者の切実な思いはなぜうまく語れないのか？ 語る言葉がないのか？ それ以前に、私たちの思考を条件づけている「文法」の問題なのか？ 若き哲学者による《する》と《される》の外側の世界への旅はこうして始まった。ケア論に新たな地平を切り開く画期的論考。